

# 指定管理者総合評価シート

## 1 施設の概要

施設名	豊岡市立コウノトリ文化館	所在地	豊岡市祥雲寺127番地
設置目的	豊岡市の自然、地域文化、産業等に関する市民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するとともに、コウノトリ野生復帰事業を核とした人と自然の共生する地域づくりを推進する。	設置年月日	
		2000年6月3日	
選考方法	非公募	豊岡市公共施設再編計画における施設の方角性 第1期計画期間（2016年度～2025年度）	—

## 2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	NPO法人コウノトリ市民研究所	指定期間	2018年4月1日から2023年3月31日		
指定管理業務の内容	(1) 文化館の資料の収集、保管、調査研究及び展示に関すること。	指定管理料（千円）	2018年度	32,154	千円
	(2) 文化館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。		2019年度	32,452	千円
	(3) 人と自然が共生する地域づくりの普及啓発に関すること。		2020年度	32,750	千円
	(4) 兵庫県立コウノトリの郷公園その他関係機関との相互協力に関すること。		2021年度	32,750	千円
	(5) 文化館の活動に係る市民団体等との連携に関すること。		2022年度	32,750	千円
(6) 前各号に掲げるもののほか、文化館の目的を達成するために必要な事業					

## 3 総合評価

### (1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記の判断理由や具体的内容)

新型コロナウイルス感染症蔓延の影響もあり、この2年間の来館者は年間約56千人にとどまり、2019年度比で約27.5%と大きく減少した。

その中でも、来館者へ細やかに対応することはもちろん、体験学習や、交流イベント、文化イベントなどを実施し、コロナ禍であっても、2019年度比で約50～60%の参加があった。イベント等は定番化している面もあるが、自然を相手にしていることから、その都度都度で新しい発見もあり、参加された方の満足度も高く、継続的に参加する方もおられるなど、人と自然が共生する地域づくりに寄与している。

### (2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

(ア) コロナの影響だけではなく、入館者が減少傾向にある。本市は「絶滅したコウノトリの野性復帰における持続可能な環境を取り戻す取り組み」が評価され、「持続可能な観光地」に選ばれるなど、本施設は、その野生復帰の取組みを発信するための重要な拠点となっている。観光施設ではないものの、誘客へ向けた取り組みを進めることも必要である。

(イ) 指定管理業務において、指定管理料以外の収入がほとんど見込めない。施設管理だけでなく、展示解説や自然体験学習など、専門的知識を必要とするが、待遇面などから若手の人材確保が難しい。

### (3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	指定管理者制度による運用の見直しを検討する。若しくは検討中である。

(上記の判断理由や具体的内容)

現指定管理者は、本施設の開設前から、コウノトリの野性復帰の取組みに共感し、市民レベルでの活動を続ける団体である。本施設が指定管理に移行した後は、コウノトリを始め、豊岡の自然環境についての専門的知識、環境学習の指導ノウハウを有したスタッフにより施設の運営管理が行われていることから、来館者の満足度も高くなっている。

また、同一敷地内のコウノトリの郷公園とも良好な関係を築いている。

### (4) 指定管理者制度評価委員会の意見

指定管理者制度導入の効果が認められるため、引き続き同制度による管理運営が適当であると判断する。選定方法は、非公募とする。

1～3(3)を所管課が記入する。